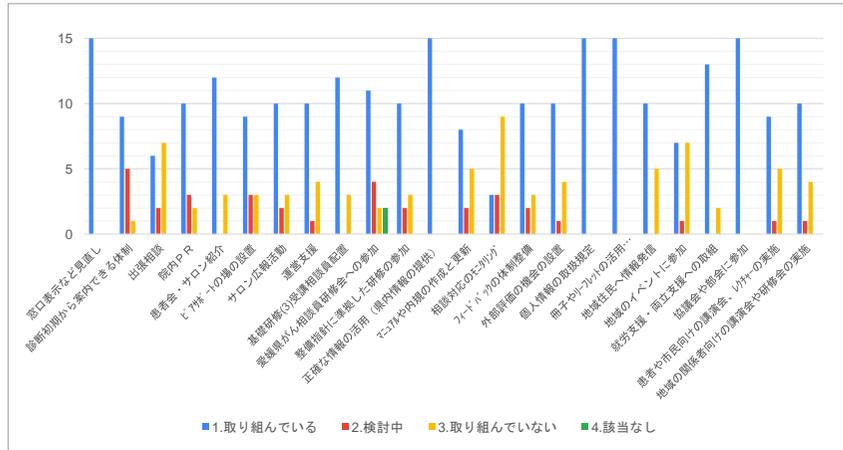


2023（令和5）年度 愛媛県がん相談支援センターの活動のPDCA実施評価表

：前年度より改善 ：前年度より下回る

評価項目	① センターの案内					② センターの周知・広報					③ がんサロンの運営・患者会の活動支援			④ 相談対応の質の担保							⑤ 地域との連携強化						
	1-1-1	1-1-2	1-1-3	1-1-4	1-1-5	1-1-6	1-1-7	1-1-8	1-2-1	1-2-2	1-2-3	1-3-2	1-3-3	1-3-4	1-3-5	1-3-6	1-3-7	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7			
がん診療連携拠点病院	A	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	B	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1			
	C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	D	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	E	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1			
	F	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	G	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1			
がん診療連携推進病院	A	1	2	3	1	1	3	3	3	3	1	1	1	3	1	1	1	1	3	3	1	1	3	1			
	B	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1			
	C	1	3	3	3	1	1	1	1	3	3	1	3	3	3	1	1	1	3	3	1	1	3	3			
	D	1	2	1	2	3	2	3	3	2	2	1	3	3	1	1	1	1	1	3	1	3	1	3	1		
	E	1	2	3	2	1	2	2	2	1	2	3	1	1	3	2	3	1	1	3	3	1	1	3	2		
	F	1	2	3	3	1	3	1	1	1	2	1	3	3	3	3	1	1	3	3	1	1	3	3	3		
	G	1	1	3	2	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	1	1	1	1	3	3	1	1	3	3		
	H	1	2	3	1	3	2	2	3	1	1	3	1	2	3	3	2	1	1	3	1	1	2	3	3		

評価項目	① センターの案内					② センターの周知・広報					③ がんサロンの運営・患者会の活動支援			④ 相談対応の質の担保							⑤ 地域との連携強化						
	1-1-1	1-1-2	1-1-3	1-1-4	1-1-5	1-1-6	1-1-7	1-1-8	1-2-1	1-2-2	1-2-3	1-3-2	1-3-3	1-3-4	1-3-5	1-3-6	1-3-7	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7			
1.取り組んでいる	15	9	6	10	12	9	10	10	12	11	10	15	8	3	10	15	15	10	7	13	15	9	10				
2.検討中	0	5	2	3	0	3	2	1	0	4	2	0	2	3	2	1	0	0	1	0	0	1	1	1			
3.取り組んでいない	0	1	7	2	3	3	3	4	3	2	3	0	5	9	3	4	0	0	5	7	2	0	5	4			
4.該当なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			



IV. 結果と分析内容（詳細は資料参照）

例年通りPDCAサイクルの確保のため、全病院が28項目の評価を行った。専門部会では令和5年度の重点項目「院内スタッフへの周知体制・診断早期の患者にセンターに立ち寄ってもらう仕組みづくり（チェックリスト項目1-1-1・2・4、2-1）」の4項目を中心に、さらに新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、活動が再開されつつあるがんサロンの活動や、対面開催を再開したがん相談員研修会について評価した。

①1-1センターのわかりやすい掲示
すべての病院が取り組んだ。

①1-2診断初期からのセンターが案内される体制作り
整備指針改定に伴い、すべての拠点病院と推進病院2病院が体制整備に取り組んだ。その方法は様々であり、方法および効果を情報共有しながら各病院の特性に応じて実施方法を工夫していく必要がある。

③1-1-4センターの役割の院内周知
すべての拠点病院と推進病院3病院が院内周知に取り組んだ。院内e-learningの配信やカンファレンス・研修会等の場が活用されていた。1-1-2同様、効果も含めて情報共有し、継続した取り組みが必要である。

④2-1提供する情報の精度と正確な情報の提供
すべての病院が取り組み、2022年度に改定されたがんサポートブックを活用した。

⑤1-1-6, 7, 8がんサロンの開催および広報活動
すべての拠点病院と推進病院2病院がサロン活動に取り組み、複数の推進病院が検討中である。コロナの5類移行に伴い活動が再開されている。サロン担当者交流会が再開となり、各病院の工夫が情報交換したことが活動再開につながっているとされる。

⑥1-2-2愛媛県がん相談員研修会への参加
今年度Q A研修を取り上げ研修会を集合研修で開催したことで対面での交流が可能となった。全拠点病院と推進病院4病院が研修会に参加している。相談対応の質向上につながるよう、研修内容を工夫し、また愛媛県がん相談員研修会への参加を促進することが必要である。

⑦1-3-4相談対応のモニタリングについて
マニュアル作成・更新は拠点病院6病院と推進病院2病院であり、相談対応のモニタリングの実施は拠点病院3病院のみである。
Q A研修等を効果的に利用して実証への取り組みにつなげていく必要がある。

まとめ
1) 相談者からのフィードバックを得る体制について、部会内で検討を重ね、すべての拠点病院で取り組むことができた。
2) 出張相談および地域のイベント参加について、住友別子病院の声かけにより専門部会として健康フェスタinにはまに参加できた。コロナの5類移行に伴い地域開催イベントが増加すると思われる、積極的に専門部会として協力する。
以上より、評価予定であった項目は各病院が積極的に活動取り組むことができた。また、サロン、フィードバック体制、出張相談など、部会として取り組んだ活動も、各病院の成果につながった。